

1月号

School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



Dream通信

2011. 1. No.34

2011年度の目標を決めました！！



新年も元気に学校へ！

今回のドリーム通信では、今年の目標、新しいスタッフの紹介、12月中旬から始まった日本語授業についてご紹介します。

今年の目標

昨年と同様、今年も一年間の目標を子どもたち一人一人が書きました。

その中からいくつかご紹介します。

ソーン・カンチャナー)

「愚痴を言わずに一所懸命勉強する。園のルールを守り、間違ったことはしない。」

ブーン・マイ

「良い子、良い娘、良い生徒になり、いつもお手伝いをがんばる。小さい子どもの面倒を見る。」

ハイ・トール

「今年の目標は小さい子どもの手本になること。将来は通訳になって家族を幸せにする。」

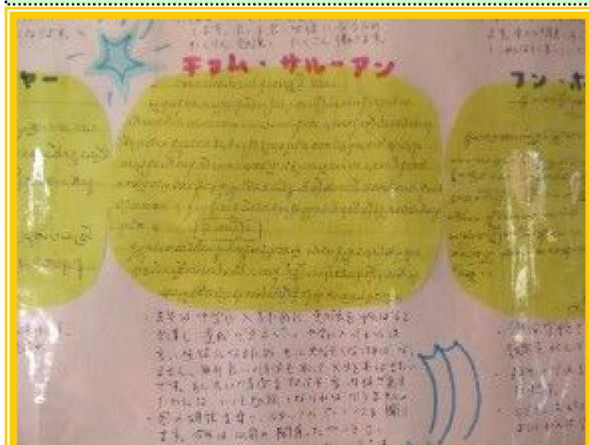
メーン・テット

「毎日勉強して園や学校で良い順位を取る。良い子になってお兄さん、お姉さんに迷惑をかけない。」



一人一人の目標を張り出しました

特に多かった目標は、“一所懸命勉強すること”です。今月は5位だったけどどうしても次は1位になりたい、来月こそは順位に名前が載りたい、と皆競い合って勉強しています。



一人一人の異なる目標

この目標は、センターホールからすぐ見える位置に掲示し、子どもたちがいつでも見られるようにしてあります。園にお越しの際には、是非、ご覧になってください。

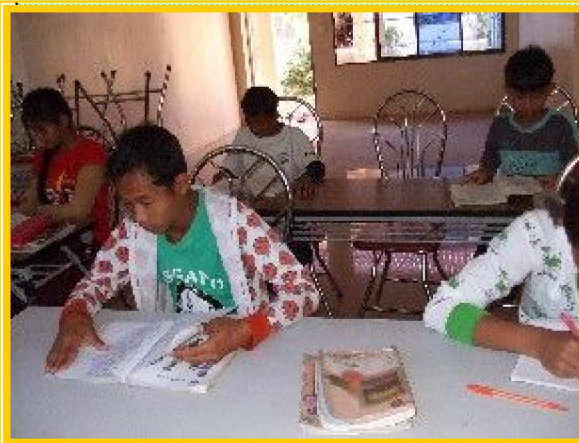


よろしくお願いします！

新しくスタッフが加わりました！

皆さんはじめまして、12月15日より勤務開始となりました飯田友喜(いいだゆうき)です。ワタミ入社時から考えていたSAJで働くという夢が叶い、本当に嬉しく思っています。私の夢は、世界中の一人でも多くの子どもたちが幸せに暮らしていけるように、何か少しでも自分がその役に立てるような人間になることです。

孤児院に来て早一ヵ月、毎日子どもたちの笑顔に囲まれ、元気をもたらしています。まだ分からないことばかりですが、子どもたちと日々生活を共にし、共に成長していきたいです。将来子どもたちの夢が叶えられるように私も努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



授業風景

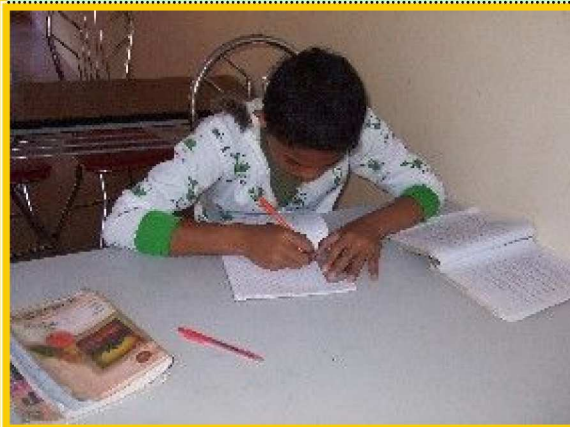
日本語授業

園では、子ども同士で日本語を教えあっていました。日本語を少しでも出来る子は、教えることで復習をし、出来ない子は是非教えてほしい、との思いが重なり、実現していました。しかし、やはり子どもだけ、しかも出来るといっても少しばかり出来る子どもでは、教えられる言葉にも限度があるので、子どもたちの願いで、今年より、私、飯田が日本語授業を開始しました。

日本語を習う子どもたちの中には、将来日本語の通訳になりたい子、SAJの団体で働きたいという夢を持っている子どもがいます。また、特に多い子どもは、里親様と日本語でお話しがしたい、と願う子どもたちです。

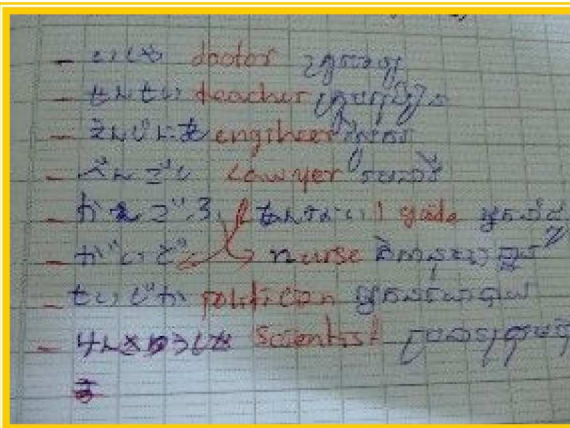
授業を受ける子どもたちは、園の中でもトップクラスの成績を取っている子どもたちが多いです。

日本語を教えていて思うのは、子どもたちのやる気の強さです。授業中、何か質問を投げかける度に大声で答えが返ってきます。答えがわからないと、とても悔しそうな顔をして、隣の子どもと相談します。そして普段の生活の中でも、習った日本語を一所懸命使おうとする子どももいます。



一所懸命に板書します。

将来日本語を話せるようになって、カンボジアの国を日本の人々に紹介できるようになってほしいです。日本の文化を学び、また、カンボジアの文化を学ぶことで、日本とカンボジアの架け橋になって欲しい、そして、世界にはいろいろな国・文化があることを学び、世界に羽ばたいて行ってほしいと思います。



ノートには日本語、英語、クメール語が。